

「地域医療システム学講座 における3つの使命」



小宮 一郎

地域医療システム学講座 教授

琉球大学医学部附属病院の地域医療システム学講座についてご紹介します。本講座は沖縄県の寄附講座として昨年12月に開設されました。同じく寄附講座の地域医療教育開発講座(山岡章弘教授)はシミュレーション事業を県内に普及させる目的で昨年9月に開設されました。どちらも沖縄県の寄附講座として地域医療に関わっていく訳ですが、当講座は既存の地域医療部等との連携のもとに事業を展開していきます。

当講座の事業の柱は3つあると考えています。第一は地域枠学生の教育を通じて、医学部での地域医療教育を充実させ、将来の県内の地域医療を担う人材を育てる事業を行うことです。地域枠学生を種々のイベントに参加させており、彼らの医療や医学そのものに対する意識は格段に向上しています。本年2月には旭川医科大学と周辺地域の研修に地域枠学生を参加させましたが、素晴らしい研修ができました。地域枠以外の学生にも同様な研修が可能なら、彼らの医療に対する意識も違ったものになると思われます。このような過程の中で、当講座は医学部教育カリキュラムの改訂や新たな教育法の導入等の事業にも多少関わることになるかと思えます。

第二は初期臨床研修医に対して地域医療研修指導を行うことであります。新たな臨床研修制度の導入があり、初期臨床研修においても地域医療とのかかわりが重要視されています。当院における初期研修制度仕組みの中で、外来研修の充実などを通して総合医としての能力を高めるような研修を目指します。さらには臨床各科、シミュレーションセンターや専門研修センターとの連携事業として、総合医的能力を併せ持った専門医育成の手助けを行い、離島や北部地域の医療に貢献できるような態勢を整えたいと願っています。専門性を持った大学病院の医師がいかに関わっていくか、他の地方の大学病院と共通の認識のもとに、新たな方向性を模索しています。

第三の柱としては、これが最も困難かもしれませんが、沖縄県の地域医療再生のための事業が挙げられます。県や県立病院、医師会などと連携して琉球大学も離島や北部地域での地域医療再生のための事業に関与する事が求められています。本講座の設立にも関係する事業ではありますが、まだ、具体的な事業進展はなく、ここ1年以内に具体案が示されるものと期待しています。

以上のように、当講座は院内外の多くの部署と協力しながら、地域医療の再生や充実に貢献したいと思っています。特に琉球大学医学部の臨床各科のご協力が不可欠であります。今後とも宜しくお願い申し上げます。